

手技療法の効果を立証し得た症例から、その理由を推論して得た一仮説（補助的栄養療法についての仮説を含む）

中京短大 安達和俊

目的 手技療法によって変形性股関節症、生理痛、不順及び突発性側弯症が回復した症例で、その効果が、サーモグラフィー或いはモアレトポグラフィー等にて立証し得た症例から、何故、回復し得たか、その理由を推論し仮説を導く（また補助的栄養療法についても、他の症例より仮説を導く）。

方法 私のクリニックに来院した変形性股関節症・生理痛・不順及び突発性側弯症の患者を、手技療法によって治療し、その回復状態の事実を、サーモグラフィー、モアレトポグラフィー等にて立証し、その理由を、患者自身によって持ち込まれた腰椎・骨盤などのX線写真をマーキング（線引き）分析して得た結果等から推論し、一仮説を導く（また推察したい補助的栄養療法についても、「明治製菓」より得た症例等より推論し、一仮説を導く）。

結果 1)小児のペルテス氏病、急性股関節炎また変形性股関節症に至ったもの、また生理痛についても、手技療法の術後、徒手的検査に於いて、歩行、生理時の疼痛および、特に鼠径部の圧痛もまた除去し、サーモグラフィーによって、股関節周囲、鼠径部の高温部の温度の低下が確認されたが、それは前下方へ偏位している腸骨のA S I Sを後上方へ、また逆に恥骨を前上方へ還納することによって、その側の仙腸関節の偏位もまた整復され、寛骨の関節窩と大腿骨々頭の偏位もまた調整され、関節裂隙が拡張し、鼠径の大・小腰筋の緊張も弛緩した為と推論し、2)また突発性側弯症についても、術後、モアレトポグラフィーによってアダムテスト(-)なら極めて強く、また(+)でも、年齢、程度に応じ、回復するのは、脊椎間関節の偏位の整復が、自然治癒へのきっかけを与える為と推論し、レントゲンのマーキングで確認した。3)コンドロイチン・ケラチン硫酸塩含有食品により、関節軟骨等の修復がみられるのは、それらに捉えられたサイトカインが、軟骨芽細胞等を刺激する為と推論した。